

衆議院比例四国・名簿登載予定

比例は日本共産党

ジェンダー平等社会へ 四国から女性衆院議員を



白川よう子



LINE 公式アカウント



1月4日、高松市で新春宣伝。党香川県議団、高松市議団と高松市内で「自粛を言うなら補償とセットで」と街頭から訴える。



12月27日、こども食堂にボランティアで参加。

四国から女性衆院議員を！

白川よう子さん 永江孝子さん

2021年1月24日(日)
13:30 ~ 15:00
ユーチューブでライブ配信

●ジェンダー平等社会の扉をひらく
2人のトークセッション

QRコードから予約して視聴できます。

千利はなごちから

「四国から女性衆院議員を送る」つどい実行委員会主催の「みんなのエール—市民と野党で新しい政治を」と題した永江孝子さんとのトークセッション。Youtubeでライブ配信します。

新春1月3日付「しんぶん赤旗」日刊紙の巻頭は、小池晃書記局長と2021年総選挙を闘う4人の比例代表候補の新春座談会。私もこの座談会に参加させてもらい、「全国一定数の少ない四国比例で議席をとれるかどうか、総選挙勝利のフィニッシュになるのは間違いない。四国で共産党の議席を必ず奪還する」と宣言しました。いよいよ総選挙の年。身の引き締まる思いで年始を迎えました。

年末、近所のこどもクリニックが主催する「こども食堂」にボランティアで参加しました。元氣な子どもたちと公園で走り回ったり、温かくおいしいご飯を食べ、お餅つきや綿菓子づくりも。ボランティアには高校生たちがたくさん参加、子どもたちも大喜びです。「こども食堂」の取り組みは今こそ必要な時ですが、コロナ感染防止対策上は本当にやりにくい時でもあります。コロナの影響で経営が大変な小児科で、こうした取り組みを継続させていることに頭が下がる思いでした。

東京では「おとな食堂」や「年越し支援・コロナ相談村」が取り組まれ、各地で生活困窮者対策のお弁当や食料品、物資の提供なども行われました。並んだ列には子ども連れ、夫婦も多かったそうで、赤ちゃんを連れた女性や若者の姿もあり、あらゆる層が生活に困窮していることが浮き彫りになりました。

「一人で悩まなくていい」この言葉がどれほど心強いことか。誰ひとり置き去りにしない社会を今年は必ずつくり出そう！

よう子記
